

「洗礼—神様の恵みを受け取ろう—」 聖書 使徒言行録 2章 37節～42節

問 51「洗礼とは何ですか？」

答「父・子・聖霊なる神さまの御名によって行われる水の洗いです。洗礼は、イエスさまと結び合わされ、罪赦され、永遠の命が与えられ、神さまの子どもとされたことを示す礼典です。」

わたしたちは生きる時、いろいろなことに会います。毎日たくさん神さまの恵みをいただきたいと思いませんか？ では神さまが与えてくださる恵みをどのように私たちは受け取るのでしょうか？ 神さまが恵みを与えてくださる方法とはいったい何でしょうか？

9月10日の日曜日に教会学校のメッセージを聴きながら教えられてきました。その方法は、三つあります。みことば(聖書)と礼典(洗礼・聖餐)と祈りです。神さまがこの三つの方法によって私たちと共にいてくださり祝福を豊かに与えてくださるのです。恵みをいただきましょう。

今朝は、「洗礼」のことを学びましょう。

洗礼を受けると「イエスさまと結び合わされ、罪が赦され、永遠の命が与えられ、神さまの子どもとされる」のです。素晴らしい恵みですね。皆さんの中には幼児洗礼を受けたという中高生もいます。教会のみんなもお家の人たちもずっとお祈りを続けています。やがて神さまの招きをいただき、信仰告白する日を待っているのです。

今朝の使徒言行録 2章はペンテコステの時に起こった出来事ですね。復活のイエスさまにお会いしたペトロさん、すっかり変わりました。力強く説教します。聴いていた人たちは心を刺されてペトロさんに「救われるためにわたしたちはどうしたらよいのですか？」と質問します。すると、「悔い改めなさい、洗礼を受けなさい。」と勧めます。「この約束は、神さまが私たちに招いてくださっているのだから私たちは受け取るだけでいいのですよ」と。この日、3000人が洗礼を受けました。

信仰を告白するときは、日曜日の礼拝の中で洗礼式、信仰告白式をします。こっそり「隠れて信じます」というのではなくて、みんなの前で心から誓うのです。自分がすることを思うと緊張しますね。私は17歳の時でした。ドキドキして胸がいっぱいでした。神さまがお招きくださる時、その時には一歩前進。神さまが恵みを与えてくださるのですから一人じゃない、心強いです。進路に悩むときも神さまに祈りながら進んでいきます。そして一步一步自分の道が開かれて行くのです。

祈り「愛する神様、救い主イエスさまと一つに結び合わされることを心から感謝致します。どうか罪と戦うことができますように。信仰告白の喜びの日を与えてくださいますように。今コロナの中で大変な毎日ですが、今週も心の目を覚まし、日々祈り、希望をもって生きることができますように。イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン。」

熊田なみ子